

<週報No. 2,958> 3,070 回例会

2021年12月3日(金)

◆会長/北川 和彦 ◆幹事/飯田 兼光

◆司会 = 玉本 広人 SAA

◆ゲストビジター = 本日はいらっしゃいません

◆出席報告

本日	100.00%	0名欠席
前回訂正	100.00%	0名欠席

◆ラッキーナンバー = No.6 三井章義君

◆ニコニコボックス = ●北川和彦君、飯田兼光君 = 丸山博己会員 諏訪ロータリーによるこそ！プログラム委員会の皆さん 2021年の振り返りよろしくお願ひ致します。

●宮坂直孝君 = 結婚記念日のお花をいただいてありがとうございました。●三井章義君 = ラッキーNoに当たって。

◆会長告知・北川和彦会長 = 11月28日(土)にホテル紅やで地区の社会奉仕セミナーがあり、当会からは三井、倉谷、吉越会員を含め7名に参加していただきました。会場参加80人、リモート参加100人でした。

パネラーは阿部知事、金子諏訪市長、花岡東御市長、藤原前川上村長でした。テーマは「ロータリーから信州を元気にしよう。信州のためにロータリアンは今、何をすべきか」で、自治体からのロータリーに対する期待や要望がテーマでした。

何人かのパネラーから、行政は公平・公正が基本なので各地域の実情に応じたサービスが提供できない、その部分をロータリアンがやってくれとありがたいとの話しが出ていました。知事はフードコートや子ども食堂への支援を訴えられていました。

ガバナーはインターアクトという中高生への支援活動の地区委員長をされていましたが、親や先生以外の大人が関与することによって社会性が身につけていくと話されていたことが印象に残りました。

当クラブもロータクトを支援していますが、ロータリーが関わっていくことで若者や子どもに良い影響を与えることができると思います。

先週配布された「THE ROTARY MOTIVATION」は関邦則さんという地区研修リーダーが作成された冊子です。大変良くできていて、ロータリーの誕生、歴史、各奉仕活動

の内容、今後の心構えが整理されています。

ロータリアンの世界と日本の会員数(10頁)、組織構成(11頁)、基本理念(18頁以下)、会員の義務と権利(28頁)、日本は世界で3番目の会員数であること(47頁)、奉仕の内容(55頁以下)、財団、奨学金(66頁以下)、地区やクラブの組織(95頁以下)、課題(123頁以下)など、これ一冊でロータリーの全体がわかるので是非読んでみてください。

ロータリー情報委員会が来年2月か3月に研修を予定しており、4月の担当例会では宮坂有照パストガバナーを講師招きに未来形成の話しをしていただくことになっています。

◆幹事報告・飯田兼光幹事 = ①本日は新入会員のNTT東日本諏訪営業支店支店長 丸山博己会員が参加しております。ようこそ、諏訪ロータリーへ。後ほど入会セレモニーを行います。所属は親睦・クラブ親善委員会となります。②推薦がございました新入会員候補につきまして、会員選考委員会及び職業分類委員会より承認を頂きましたので、本日の理事会にて審議させていただきます。③7月よりお願いしました「ダメ、ゼッタイ。」普及運動募金は、8,811円となり、先日振り込みを致しました。会員皆様のご協力に感謝致します。④今月のロータリーレートは114円です。⑤次回例会は会長並びに会長エレクト担当のクラブ協議会、年次総会となります。ご準備お願ひ致します。⑥本日の例会終了後、第10回理事会を開催いたします。お集まりください。

◆ポールハリスフェロー表彰伝達式

加藤博明会員



◆新入会員入会セレモニー

●NTT 東日本諏訪営業支店 支店長 丸山博己君 = 出身は新潟・長岡で、信条は地元の偉人・山本五十六の名言「男の修行」。前任地は飯田の方で、長野県内では諏訪の勤務は初めてということになります。先ほど小口武男会員からご紹介いただきましたが、出身が長岡市ということで、諏訪と同様に花火と日本酒が有



名な土地でございまして、非常にご縁を感じております。これからもご指導ご鞭撻を賜ることが多々あるかと思えますけれども、何卒よろしくお願いたします。

◆クラブフォーラム

●花岡秀則会員 卓話テーマ「2021年を振り返って」

年末恒例のテーマとなります。今回も宮坂康弘会員にご協力いただき、お手元の資料を作成いたしました。ありがとうございます。

まず国内の1年を振り返ります。やはり新型コロナウイルスの感染拡大に関するニュースが目立ちました。1月には11都府県で「緊急事態宣言」



が再発出されました。2月には、10都府県で緊急事態宣言が延長になりました。東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長が女性蔑視発言の責任をとって辞任しました。3月には東京五輪聖火リレーが福島県からスタートしました。4月、新型コロナウイルス感染拡大で3度目の緊急事態宣言。男子ゴルフでは快挙です。マスターズで松山英樹選手が優勝を果たしました。5月には高齢者を対象にしたワクチン接種が全国で始まりしました。6月、9都道府県に出されていた緊急事態宣言が解除されました。そしてゴルフで今度は女子の活躍、全米女子オープンで笹生優花選手が日本勢初優勝を果たしています。

7月には東京五輪が開幕しました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大で東京に4度目となる緊急事態宣言。静岡県熱海市では、大規模な土石流が発生し20人以上が犠牲になりました。その責任を巡り警察の捜査が続いています。8月、日本が過去最多となる58個のメダルを獲得した東京五輪が閉幕しました。新型コロナウイルスでは、感染拡大により21都道府県に緊急事態宣言が出されました。9月、東京パラリンピックは、日本が史上2番目に多い51個のメダルを獲得し、閉幕しました。10月です。秋篠宮家の長女眞子さんが結婚、新型コロナウイルスでは、19都道府県の緊急事態宣言がようやく解除されました。衆院選では連立与党が過半数を維持しています。

次に諏訪エリアの1年です。1月です。8日、全県に初の医療警報が発出されました。14日には「GO TO EAT」の販売が一時停止となり、県は「医療非常事態宣言」を発出。2月です。3日、諏訪湖が3季ぶり全面結氷も御神渡り出現せず明けの海となりました。3月6日、医療従事者

のワクチン接種が開始。4月です。1・2の両日、県内で東京五輪聖火リレーが行われ、藤森慎吾さん、小平奈緒選手らがつなぎました。7日、諏訪市の城北小学校と高島小学校の閉校を受けた「上諏訪小学校」の開校式。14日、諏訪地方の飲食店でクラスター。19人感染が確認されました。15日、高齢者向けのワクチン接種が茅野市から開始されました。その一方で16日、諏訪圏域の警戒レベルが5に引き上げられました。5月です。来年の御柱祭に向けては10日、諏訪大社下社の御用材となるモミの伐採が東俣国有林で行われました。コロナ感染拡大防止のため参加人数は通常の5分の1でした。インフラ関係では18日、諏訪湖スマートICが2024年3月完成目指し起工しました。

8月、諏訪地方で8年ぶりとなった選挙戦で8日、富士見町長に名取重治氏が再選されました。12日、富士見町で東京パラリンピック採火式が行われました。この夏は記録的豪雨にみまわれました。15日、岡谷市川岸で土石流が発生し、母子3人が犠牲になりました。また9月5日には、茅野市高部の下馬沢川上流で土石流が発生し、家屋の全壊や半壊など大きな被害がでました。9月13日、デルタ株感染拡大が懸念されるとして諏訪圏工業メッセの中止（リアル開催）が発表されました。10月です。4日に発足した岸田内閣の厚労相に長野4区選出の後藤茂之氏が任命されました。諏訪地域からの大臣誕生は1981年の小川平二文部相以来、40年ぶり6人目です。御柱祭関連では14、18日に諏訪大社上社の御柱御用材の伐採が社有林「御小屋山」で30年ぶりに行われました。そして11月16日、御柱祭ガイドラインが発表され、感染警戒レベル4以上の場合、曳行は実質的に中止とする方向となりました。また残念ではありますが28日、サッカーJ2・松本山雅のJ3降格が決まりました。

◆今後の例会日程

12月10日	金	クラブ協議会 年次総会
12月21日	金	家族例会 忘年例会（夜間）
12月24日	金	休日